

ITIL® 4 Foundation オンデマンド研修

【試験付】

大人気！ヒルアビットのITIL®4 Foundation研修オンデマンド版がいよいよ登場！



ご提供価格 ¥106,000 (税別)

無料デモ動画

https://youtu.be/uyy-h02Dm_8?si=eANf8DaGX7vLx2Wa

※ご契約開始日から90日間ご視聴可能です

※研修費用にはPeopleCert認定 ITIL®4 Foundation試験費用が含まれます

ココが違う！ITIL® 4

わかりやすい！

ITIL®4は、ITILv3と比較してずっと平易で分かりやすい表現で記述されています。また、講習では「わかりやすい！」と大好評のオリジナルアニメーションやケーススタディを多数ご用意。「記憶に残る」理解を助けます！

新たな社会人の教養！

ITILv3ではプロセス中心の解説でしたが、ITIL®4ではDXなどのへの対応のため、リーン、アジャイル、DevOpsなどの考え方やマーケティング理論を取り込み、「新たな社会人の教養」と呼ぶべき内容に拡充されました。

組織変革を支える！

ITIL®4は、ビジネスモデルの変革やDXへの取り組みに避けられない組織変革や組織のあり方、リーダーシップ論を語っています。ファンデーションでもその一環として「従うべき原則」などを学びます。

コース概要

本コースは、サービスマネジメントとITIL®4の基本的な概念、用語等について理解いただくことを狙う入門レベルのコースです。利害関係者（顧客やパートナー等）とともにサービス提供を通じて価値を共創していくための基本を学習します。

運用のご担当者だけでなく、開発や管理職の方々の業務に広く関連する内容であり、またITIL上位コースを受講されるためには必須のコースです。

本コース受講後、試験に合格すると、「ITIL®4 ファンデーション資格」を取得することができます。

当講習はネットワーク環境さえあれば、いつでもどこでも、PCやタブレットから繰り返しご視聴いただけるオンデマンド形式でのご提供となっております。

試験に際しては、受講者様のご自宅等から受験できるオンライン・プロクタリング試験※1、またはプロメトリック社が提供している試験センターでの受験※2が選択可能です。いずれの場合も、受講者様で別途ご予約いただくことになります。

※1 オンライン・プロクタリング試験： ご自身で予約した時間帯に、オンラインで試験監督が立ち会い受験可能です。ご本人様確認書類のご用意が必要になります。

※2 プロメトリック社提供の試験センターでの受験：プロメトリックIDを取得後、ご希望の試験会場と試験日時を選択し、受験可能です。受験会場でご本人様確認書類のご提出が必要になります。

研修内容

ITIL®4ファンデーションAGENDA概要を以下にお知らせいたします。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1.コースの概要 | 5.ITIL サービスバリューシステム |
| 2.主要なコンセプト | 6.継続的改善 |
| 3.従うべき原則 | 7.ITILプラクティス |
| 4.サービスマネジメントの4つの側面 | 模擬試験および解説 |

資格体系

ITIL®4では、基礎となるファンデーション資格の上位に、実務的なIT担当者のためのマネージング・プロフェッショナル(MP)、およびIT組織のリーダーのためのストラテジック・リーダーシップ (SL) の2種類の資格が設けられています。



Copyright © Hillabit Corp. and the PeopleCert group 2025. All rights reserved.

ITIL® is a registered trademark of the PeopleCert group. Used under licence from PeopleCert. All rights reserved.

ITIL®4の背景と特長

ITIL®4の背景

ITの進化が急激にビジネスを変化させる「デジタル・トランスフォーメーション」(DX)においては、ビジネス変革の方向性に合わせ、クラウド、IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスなど最新のテクノロジーをいち早く最も適した形態で活用することが成功の鍵となります。ITIL®4は、このような社会的な変化と、それに伴う新たなベストプラクティスの提供を目的とし、DXの実現に必要な要素として、ガバナンス、リーン、アジャイル、DevOpsなどを取り込み、刷新されました。

ITIL®4の特長

- **価値の共創**
サービスプロバイダーと消費者が協力して価値を創出する「共創」のモデルを提唱しています。
- **サービスバリューシステム**
ITIL v3に見られたライフサイクル・アプローチではなく、迅速かつ柔軟に必要な要素を組み合わせる「サービスバリューシステム」を採用しました。
- **優れた既存のフレームワークの採用と統合**
上位コースでは、さまざまな組織論、マーケティング的な方法論（カスタマー・ジャーニー）、DXを実現する多様な思考法を扱い、従来のプロセスを重視した内容を大きく拡充しました。
- **書籍の構成と資格体系を統一**
ITIL®4では資格ごとに対応するITIL書籍が提供されます。このためファンデーション書籍は全体の基礎となるコンテンツのみを、それぞれの上位コースで同様に専門分野に特化した内容を扱うよう整理されました。